



クスノキ



豊中市立第十四中学校
学校だより
令和5年(2023年)
7月20日
発行責任:校長 石井 武

★令和5年度(2023年度)1学期の終業

1年71日、2・3年70日の確かな歩みを

2学期につなげよう!

本日1学期終業の日を迎えました。今、みなさんの心にはどんなシーンがよみがえってくるのでしょうか。3年修学旅行、2年キャンプ、1年校外学習など大きな行事が思い出される人もあれば、日常の授業や学校生活、生徒会活動や部活動、仲間や先生との何気ないやりとりが印象に残っている人もあると思います。大事なことは、それらすべてが確かな歩みであり、一人ひとりの成長につながっているということです。

本日受け取る通知表の中身とともに、みなさんが1学期に頑張ったこと、自分自身に対してほめてあげられること、これからの課題として努力すべきことをぜひ振り返っておいてください。それが必ず力となり、さらなる成長へとつながるはずです。

いよいよ明日から35日間の夏休みに入ります。1学期の成果と課題を2学期につなげ、もっともっと飛躍できるよう、充実した有意義な夏休みにしてくださいね!でも、何よりも大事なことは健康と命です。感染症や熱中症には細心の注意を払いましょう。そして、2学期始業式、8/25(金)にみなさんと元気な顔で再会できることを心から楽しみにしています!



★7/1(土)4年ぶりのクリーン作戦&おやじの会のご厚意による

中庭BBQ大会、有志約80名の参加で大盛況!

<川村教頭先生が本校ホームページに記事をアップしていただいたので、クスノキでも紹介します。>

7月1日(土)10時30分に有志約80名の十四中生が体育館前に集合し、おやじの会の方と一緒に4つのグループに分かれて通学路のごみ拾いを行いました。

ゴミばさみとごみ袋を片手に、道路や歩道に落ちているゴミ(空き缶・ペットボトル・タバコ・お菓子の袋など)を拾い、地域の清掃活動に取り組みました。



雨が心配しんぱいだったので、小雨こさめの中、わいわい同じグループのメンバーとお話しなながら、仲良なかよく・楽ちいきしく地うつく域を美うつくしくすることができました。心もクリーンになっ
て学校に帰ってきたら、素晴すばらしいご褒美ほうびが……

おやじの会のみなさん(8名)+Sネットの会長さん、PTA役員さんのご厚意こういで、
大量たいりょうの焼きそば・フランクフルトを、コンロで汗あせだくで調理ちようりしていただき、かき氷を
シャカシャカ作こうにゆうっていただき(今年度購入したそうです。Sネットフェスティバルで
また活躍かつやくする予定?)、たくさん生徒たちこにふるまってくださいました。

学校の中で、仲間とひと仕事しごとのあとの、焼きそば・フランクフルト・かき氷・ジュースの味は格別かくべつだったと思います。1階渡り廊下付近に、かき氷・ジュースを片手に笑顔で楽しそうに飲み食

いしながら、おしゃべりしている生徒が集まっている姿すがたを見ると、なんか懐なつかしのお祭りが戻ってきたような雰囲気ふんいきで、素敵すてきな1日となりました。

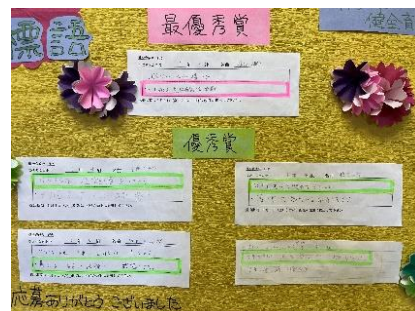
朝早くから、準備していただいたおやじの会のみなさん、お手伝いてつだいただいたSネット、PTA役員、職員しんのみなさん、そして約80名の有志生徒のみなさん 本当にありがとうございました! (教頭 川村)



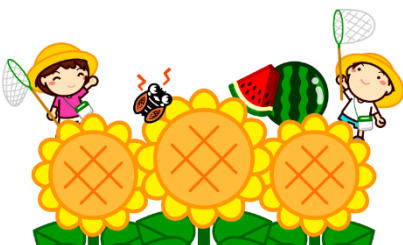
★十四中校区健全育成会「健全育成啓発標語」

ご協力ありがとうございました!

5～6月にかけて、今年度の「健全育成啓発標語」を募集しました。昨年より少し応募が少なかったようですが、多数のみなさんのご協力かんしゆに感謝けんしゆします。下足室前に優秀作品ゆうしゆうさくひんを掲示けいじしていますが、今回のクスノキでも紹介させていただきます。優秀作品ゆうしゆうさくひんに選ばれたみなさん、おめでとうございます!



賞	学年・組	名 前	作 品
最優秀賞	2-4		いじめる人 見てるあなたも 犯罪者 はんざいしや
優秀賞	3-4		リサイクル 地球を守る あいことば ちきゅう まも
	2-4		暴言は 時には鋭い 武器になる ほうげん としき すどい ぶき
	3-4		この町も 心も晴れる ゴミ拾い まち こころ は ひろ
	1-2		うそつきは 画面越しでは わからない がめんこし



★十四中生、がんばっています！PART3～クラブ表 彰～^{ひょうしょう}

陸上部	第69回全日本中学校通信陸上競技大会 男子中学生共通 走高跳 1m85 ^{はしりたかど}	第4位
	第48回豊能地区中学校陸上競技大会 男子共通 走高跳 1m75	第1位
	第48回豊能地区中学校陸上競技大会 女子共通 走幅跳 4m80 ^{とっはばどひ}	第2位
	第48回豊能地区中学校陸上競技大会 女子共通 四種競技 1092点 ^{よんしゅきょうぎ}	第2位
	第48回豊能地区中学校陸上競技大会 女子共通 円盤投 19m75 ^{えんぱんなげ}	第3位
	第48回豊能地区中学校陸上競技大会 女子総合 29点	第6位
ソフトテニス部	豊能地区選手権大会 ソフトテニス女子 個人の部	優勝
バドミントン部	豊能地区バドミントン春季大会 女子シングルの部	第3位
バスケットボール部 男子	第50回豊中市連盟杯バスケットボール大会 男子1位トーナメント	第3位
バスケットボール部 女子	第50回豊中市連盟杯バスケットボール大会 女子2位トーナメント	第3位

⇒全国大会
出場決定！
おめでとう！



◆吹奏楽部は、6/24(土)午後、京セラドーム大阪で開催された「3000人の吹奏楽ファイナル」に豊能地区合同バンド(池田市・箕面市・豊中市の小中学校24校、総勢900人で構成)のメンバーとして出場し、大観衆が見守る中、堂々とした演奏を披露しました。



★「平和」について考える夏に・・・

78年前の沖縄戦では、住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が犠牲になり、沖縄県民の4人に1人が命を落としました。6月23日、糸満市摩文仁の平和祈念公園では沖縄県主催の戦没者追悼式が開かれ、那覇市のつくば開成国際高校3年の平安名秋さん(17)が「平和の詩」を読み上げました。祖母の涙に感じた沖縄の「チムグクル(真心)」とは・・・



十四中でも新聞「知る原爆」を活用した平和学習に全学年が取り組みました。8.6(広島)、8.9(長崎)、8.15(終戦)記念日などを通して「平和について考える夏」にしましょう!

いま、へいわと
今、平和は問いかける

へいあんな あき
平安名 秋

夏六月

溶けかけたアイスを手に取り出す
緑萌ゆるこの島の昼下がり

礎に刻まれた「兄」に
まるであの日のように
そっと触れるおばあさんの涙は
陽炎が登る摩文仁の丘に
ただ果てなく広がっていく
その涙は体を包み込み
私を「あの日」へといざなう

限りないこの空は
何を覚えているのだろう
涙に満ちたおばあさんの瞳は
何を語りかけているのだろう

78年前の

あの日

あの時

かけがえのない

たったひとつの命が
憎しみと悲しみの中で
散っていった

名もなき赤子の

微かな

微かな泣き声は

震える母の手によって

冷たく光の無いガマの中で

儚く消えていった



幾多もの砲弾が
紺碧の海を黒く染める鉄の嵐
となって

この島に降り注いだ

戦争が起きる前
そこには日常があった

私達と同じように
原っぱを駆け回り
友達とおしゃべりをする
みんなで暖かいご飯を食べ

時には泣き
時には笑い
時には「ありがとう」を伝える

そんな今と変わらない日常が
平和が
そこにはあった

平和は不確かで
脆く崩れやすい
いつもすぐそばにあるのに
いつのまにか消えていく

おばあさんの涙は
摩文仁の丘に永遠(とわ)に灯る
平和の火は
今、私達に問いかける

平和とは何かを
私達に出来ることは何かを

私は過去から学び
そして未来へと語り継いでい
きたい
おばあさんの涙を
沖縄の想いを

かけがえのない人達を
決して失いたくはないから

今日も時は過ぎていく
いつもと変わらずに

先人達が紡いできた平和を
次は私達が紡いでいこう

そして世界に届けていきたい
平和を創り
守っていく
この沖縄の「チムグクル」を

※チムグクルは「真心」の意味



★「力」をつける夏に・・・

夏休みの計画は立っているでしょうか？3年生にとっては、部活動の引退、進路選択に向けた準備など節目の夏になると思いますが、すべての十四中生にとって「自主的、主体的に行動する姿勢や目標に向かって計画的、継続的に進めていく力」を身につけていくための夏にしてほしいと思います。



人は「プラス思考」を心がけることで、物事が良い方向へと向かい、難しい局面を乗り越えることができますようになります。そこで、十四中図書館に配架されている『きみを変える50の名言』（佐久間博著、汐文社発行）から、おそらくみなさんがよく知っている人の名言をピックアップしました。しっかり前を向いて力をつける夏休みにしてくれることを願っています。

成長するために、感謝の心は必要不可欠なんだ。

長友 佑都（1986年～）プロサッカー選手



サッカー選手の長友佑都さんは、イタリアのインテルというチームに在籍していた時、試合でゴールを決めるとチームメイトたちに「お辞儀」をしました。彼は得点は自分一人の力できたわけではないと考え、「感謝の気持ち」をお辞儀という形で表現したのです。長友選手は、「人として一流でなければ一流のサッカー選手ではない」とも言っています。お辞儀は礼儀で行儀は正しくそれをおこなうこと。彼はそれができるからこそ、一流の選手なのです。

小さいことを積み重ねることが、とんでもないところ（目標）へ行く
ただ一つの道だと思っています。

鈴木 イチロー（1973年～）元プロ野球選手



「イチロー」の名で親しまれ、日本やアメリカ・メジャーリーグで数々の偉業を達成した鈴木イチロー選手。その名を知らない人はいないほどのスーパースターですが、そんな彼にも何度かスランプの時代がありました。スランプが彼のポテンシャル（潜在能力）を引き出したと言ってもいいかもしれません。一流選手に限らず、潜在能力は誰もが内に秘めているものです。イチロー選手はコツコツと小さな努力を積み重ね、「とんでもないところ（目標、成功）へ行くただ一つの道」という言葉で、地道に努力を積み重ねることの大切さを表現しています。



誰も一人では生きられないし、一人では戦えない。仲間がいてくれるからこそ、今の自分がある。そう思える時、僕はいつも以上の力を発揮できるような気がする。

北島 康介（1982年～）元競泳選手



時に元気づけたり勇気づけたり、自分の気づかないことを教えてくれたりする友だちや仲間たち。何かにチャレンジするときには、そんな仲間がいるとモチベーション（動機付け、やる気・意欲）が高まっていい方向へと導いてくれます。競泳の北島選手は、仲間からたくさんの「心のエネルギー」をもらうことでモチベーションが高まり、いつも以上の力を発揮できたのだと語っています。



人はみんな、自分に与えられた魔法を持っています。

角野 栄子（1935年～）童話・絵本作家、エッセイスト

みなさんは、「魔女の宅急便」という映画を見たことがありますか？ ほうきに乗って空を飛ぶ魔女（キキという13歳の女の子）の修行の物語で、童話作家の角野栄子さんが書いた本が映画化されたものです。「誰でも魔法を一つは持っているんです。

キキのように空を飛べたり、姿を消したりすることはできなくても、自分が好きなことで生きられれば、それは魔法になる」そんな気持ちを込めて、角野さんはこの物語を書き続けられました。人は自分で自分の物語を紡ぎながら、それをつないで「人生」という大きな魔法の物語を完成させるのです。



★保護者のみなさまへ・・・

- 本日、無事1学期終業の日を迎えることができました。保護者のみなさまのご理解、ご協力に心より感謝申しあげます。夏休み期間中も感染症や熱中症等に十分ご留意のうえ、安心・安全を第一に充実した日々をお過ごしくださいますようお願いいたします。
- 夏休み中にお子様に関する緊急の連絡や相談がある場合は、学校の固定電話（06-6848-6403）にご連絡をお願いします。土日祝日や学校閉庁日（8/11～15）、平日夜間の時間帯は、双葉警備会社（06-6997-6015）にお電話ください。警備会社から校長に連絡が入りますので、対応させていただきます。

